

わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課
☎0920(54)2341

対馬各地の地名

(大字編)

【厳原町天道茂】

現在の天道茂エリアは、八幡宮神社の境内地と定められた土地で、対馬ではこうした神聖な場所でも人が汚さない場所のことを「茂・天道地・茂地」などと呼んでいたことから、この地を「天道茂」と呼ぶようになったと伝わります。

また、天道茂と呼ばれる前は、八幡宮神社の前の原野という位置関係から、神の神威を指す「いず」を冠して「いずがはる(伊豆ヶ原)」とも呼ばれていました。これが現在の厳原の語源ともなっています。

【厳原町田淵】

古くは「向里(国府があった現在の国分地区から厳原本川を挟んだ反対側の地域)」

と呼ばれていました。

田淵の語源は、この地に八幡宮神社の神領田(水田)があり、その端に溜池があったため、対馬で池を指す「フチ」という言葉がついて「田淵」と呼ばれるようになったと伝わります。

【厳原町大手橋】

「大手」とは、城の正面という意味があります。そのため、城の正門のことを「大手門」と呼んだりします。

地名の語源となった「大手橋」は、対馬藩宗家の居城・金石城の正面(この場合真東)に位置していたことから、このように呼ばれるようになった橋です。大手橋は、豊臣秀吉の朝鮮出兵に際して、清水山城が築かれたのに合わせて、天正19年(1591)に石橋として架けられました。

【厳原町今屋敷】

大永6年(1526)に宗氏14代当主となった宗盛賢(後の将盛)公は、厳原本川の池(あるいは干潟)を埋め立てて、新たに「池ノ屋形」を築き、それまでの「中村屋形」から移ります。この池ノ屋形は、それまでの中村屋形に対して新しい屋敷「今屋敷」と呼ばれたことから、この屋敷造成に伴い埋め立てられたこのエリアを「今屋敷」と呼ぶようになりました。



今屋敷家老屋敷跡(平成24年発掘調査時)

つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

- 貸出した本の返却期限は2週間後です。継続して借りたい場合は、期限内に図書館へお電話ください。さらに2週間、借りることができます。(予約が入っている本と、課題図書は継続貸出できません)
- 近頃、本を破ったり汚して返却し、弁償する方が多くなりました。図書館の本は皆さんで読む本であり、読めなくなったら多くの人の迷惑になります。大切に取り扱ってください。

9月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

今月のおすすめ新着本

『対馬海峡と宗像の古墳文化』

安田 喜憲・西谷 正/編

韓半島や中国大陸との交流の舞台・対馬海峡。近年の研究成果をもとに、多角的視点から論じ、対馬海峡と宗像の古墳文化を考える。

『UVレジンの大人モードなアクセサリ&こもの』

Asahi Original/著

様々なアレンジで、自分の好きな素材と組み合わせ、手軽に作品作りが楽しめる「UVレジン」。大人の女性が普段使いしやすい作品を66点紹介。

『三の隣は五号室』

長嶋 有/著

奇妙な間取りの五号室には、傷心のOLや、秘密を抱えた男など、十三人の住人がいた。—そして全員が去った。それぞれの跡形を残して。

『小学生の自由工作パーフェクト』

成美堂出版/出版

夏休みの宿題にピッタリ!身近なものでできる工作のアイデアがたくさん載っています。

『『水辺の楽校』の所くん』

本田 有明/著

ぼくのとりの席になった体の大きな所くん。クラスのみんなから「トトロ」といじられている所くんが、ある日ぼくを「水辺の楽校」に誘ってくれた。

『おまつり!おまつり!!』

林 大林/作・山口 亜耶/絵

だじゃれの国のおまつりにやってきた、ツリーの子ども・おまつりーが、どろぼうに飾りを盗まれてしまいます。無事に取り返すことが出来るでしょうか…。

一般書

児童書